

横田えつこさんをお送りする会に 800 人



11月7日に「横田えつこさんをお送りする会」を岡山ロイヤルホテルで行いました。800人もの方が参列し、献花・献灯を行いました。司会のさっちゃん・由美ちゃんが朗らかに進行。横田合唱団など手作りで温かな横田さんらしい会となりました。

思いを寄せてくださった皆さまに心から感謝をし、横田さんがタンポポのように地球上のアチコチにまいてくださった種を育てていきたいと思えます。

●骨髄移植ドナー支援策を前向きに検討

横田えつこさんは、骨髄移植ドナー支援策へのとりくみに力を入れていました。白血病等の患者の生命を一人でも多く救うためには、多くのドナー登録が必要です。提供には7～10日間程度の通院や入院が必要のため、仕事を休む必要等がでます。全国の115市町村が休業補償などの支援制度を設けています。岡山市議会としても2015年9月議会で請願を採択しています。大森市長は、早急かつ前向きに検討したいと11月議会で答弁をしました。

岡山市、御津虎倉産廃最終処分場設置許可を取り消し

私は「水源地に産廃最終処分場をつくってはいけない」と御津虎倉への建設に反対する住民と連帯してきました。7月に民事訴訟で建設差止めが確定し、設置許可取消を求める岡山市を相手取った行政訴訟も、最高裁で勝訴の兆しがありました。しかし、岡山市は敗訴を懸念したのか（と、私には思える）、事業者と予め話をし、12月25日に職権で設置許可取消を行いました。事業者は民事の敗訴判決で指摘された部分について申請書を補正変更し、岡山市はその審査を行うとのことでした。

岡山市の設置許可取消は、住民の安心を念頭においてではありません。住民側にはなんら謝罪はないままで説明もありません。最高裁の判断を待つところです（1.20）。

『THE folks【フォークス】vol.1』を創刊しました

おにきのぞみ市政レポートのニューバージョンです。若い年代の方に政治を身近に感じてほしいとの願いをこめて作りました。vol.1は、「How to make the Peace」。岡野英美さん（Pieni école + cafe オーナー）と金城奈々恵さん（沖縄出身の大学生）とのトークで、好評です。カフェやオフィスなどに置いていただいています。ご覧になりたい方、置いていただける方、事務所までご連絡ください（086-244-7721）。



のぞみ日誌から

中国チャイナドレスの会中四国支部設立大会

11月3日に設立大会があり参加をしました。100人近くのチャイナドレス姿は圧巻です。中国人女性たち同士が親睦を深め、日本人女性との交流を深め、多文化共生社会作りと日本社会の活性化をとのことです。



市民自治講座「沖縄の今－基地は、暮らしは」

沖縄県読谷村より仲宗根盛秀さんをお招きして、11月22日に行いました。辺野古強行着工への座り込みが続き、知事が国に提訴された直後です。沖縄の現状とともに、辺野古も安保法も、日本の民主主義を守る闘いとして、「人づくり」を大切に、「オールジャパン」で闘うべきと話されました。



チェルノブイリから 29年 ～失われたつながりを取り戻すために～

12月1日に行われた京山公民館主催の東日本大震災関連講座「今、私たちができること」国際編です。ウクライナのキエフから、被災者支援団体代表と被災児童担当主任医師の女性2人が来られました。「放射線の被害は何代も続くのでよく考えて」など、私たちへの示唆をたくさんいただきました。

京山地区、第1回ESDアワード「岡山地域賞」受賞

13日、岡山市などで創設された第1回ESDアワードにおいて、国内外からの応募のなか、岡山市京山地区ESD推進協議会が「岡山地域賞」を受賞しました。地域の皆さんがとりくんだ活動に高い評価をいただき、嬉しかったです。

「政治だっぴ」に参加

高校生・大学生・若い社会人×超党派の国会議員、県議会議員、私・市議会議員。18歳選挙権を前に、若者の皆さんに政治を具体的に身近に知っていただき、積極的に関わってほしいと企画されました。政治はみんなで一緒に作るもの。それを実感できる社会をとがんばります。



岡山市議会議員

会派：市民ネット

No.35

2015年11月議会報告

おにきのぞみ

虹色通信

2016年1月発行



事務所 〒700-0971 岡山市北区野田5丁目8-11 かつらぎ野田ビル2F
TEL 086-242-5244 FAX 086-244-7724
自宅 岡山市北区津島福居2-16-12-2 TEL/FAX 086-254-5262
Email:hopequal@po7.oninet.ne.jp http://yaplog.jp/niji_oni/



2016 子どもに最善の環境づくりを

* 2016年。岡山市は市民協働元年に*

2015年で嬉しかったことの一つに、11月議会での「岡山市協働のまちづくり条例」改正案の可決があります。「市民の力がいきるまちに」と市民自治にむけての市民協働の仕組みづくりは、私が議員になったときからの大きな目標の一つでした。働きかけはすれど、ゆっくりとしか進みませんでした。2012年によく「岡山市・NPO協働推進協議会」が作られ、まさに市民協働で、その中身の具体化も含めての歩みが進められてきました。小さいけれども、2014年に市内に「ESD市民活動推進センター」ができたときには、飛んで行ったのを覚えています。

市政は生活丸ごとです。一人ひとりが当事者。アイデアもマンパワーも志も。条例をいかに、市民が行政と対等の存在として、力がいかされる街・地域をつくっていきましょう。



正月に養母の施設で

すべての子どもが安心して育つ街を

秋以降、子どもにまつわるご相談、協力依頼が増えて驚いています。貧困、虐待、学習支援、不登校、社会的養護 etc. 子どものことは女性のこと、家族、社会のことです。

12月に行われたフィンランドの子育て支援制度ネウボラに学ぶセミナーでは、ブータンでの助産師経験のある方から「ブータンでは生まれた直後から父親と家族の育児参加が当たり前で、子育てを分かち合っている安心感がある。子どもたちは暮らしのなかで自然と妊娠・出産・子育てを学ぶ」と。日本の子育て中のお母さんは「知らないことが多すぎて、ずっとお客さん状態」「育児で夫と同じスタートラインに立つために里帰り出産をあえてしなかった」と。ネウボラという保健師との対話と信頼あるつながりのなかでの安心感の大切さや、誰もが当事者であるという教育の必要性を実感をもって語られました。

日本版ネウボラの取り組みが各自治体で始まっており、岡山でもと思いますが、出生率をあげるためではなく、やさしい社会を作るためです。

子どもが安心して健やかに育つ街を作りたい。命と人権を守る暮らしのために安倍政権には退陣願いたい。ご一緒によろしくお願ひします。

おにき・のぞみ

11月議会 個人質問から

質問項目

1. 岡山市長期構想（仮称）について
2. 地球温暖化防止について
3. 太陽光パネル設置について
4. 安心して暮らすことのできる街づくりについて
5. 新斎場について



岡山市長期構想（仮称）

岡山市は市政の柱である長期構想（2016～2025）を策定中で、素案が示されました。基本目標、3つの将来都市像と10の基本方向で構成。現行の基本構想（2009～2025）は策定して7年程の新しいもので、来年度は後期に向けての検証年度だったのです。

素案では、10の基本方向のトップに「経済」があります。現行では7つの柱の6番目に「地域経済の活性化」があります。20政令市の基本構想をみましたが、「経済」がはじめに取り上げられているのは、浜松市だけでした。現行の基本構想では、第1に「市民生活や都市活動のスタイルを積極的に変革し、環境先進都市を作り上げる」と「環境」がありましたが、今回は環境先進都市という言葉が削除され、9番目です。

優先順位の序列はないという答弁でしたが、私は「人」から出発してほしい。長年の歩みのなかで積み上げられてきた、人権・福祉・平和・自治などの基本的な価値・言葉を盛り込んでほしいです。

区ごとの計画は区民参加で作成されることを確認しました。ご参加ください。

*1月開催の総務委員会で、人権・福祉という言葉は入ることになりました。



左から、総社市、奈義町作成のエンディングノート（最期を迎えるときを、より自分の希望に沿った豊かなものにするために書き記すもの）です。岡山市はパンフ「在宅医療・介護のすすめ」のなかに1頁のみ。岡山市でも作成をと提案しました。

地球温暖化防止

11月議会時には、COP21がパリで開催中でした。COP21は、途上国も含めた全世界の大多数の国々にCO2排出削減の目標値設定とその達成を義務付けんとする画期的な会議でした。ESDで世界を牽引する岡山市としては、地球温暖化防止においても先進地となるべきです。

ところが岡山市は将来推計値も含めて削減どころか増え続け、運輸部門の自動車の排出量も然りです。市長は車から公共交通・人への施策を進めていますが、温暖化防止もそこに明確に位置づけ、目標値を下方修正し、努力すべきです。

また岡山市は残念ながら、2006年度に数値を計算してから、今まで計算をしていない居眠り自治体でした。今年度にソフトの予算化をしているので、これからは毎年数字を出すということです。

電力自由化にあたり、岡山市は2015年度に21施設に入札を導入。今後、新規110施設程度で実施予定ということです。

経費削減だけでなく、CO2削減効果を意識して環境面での位置づけを行うべきだと提案しました。例えば、2015年度の中央図書館では240トン程度のCO2削減ということです。

新斎場について

「新斎場候補地環境影響調査および、形質変更にかかわる報告説明会」が、11月22日に馬屋上小学校でありました。質問は次々と出ましたが、「納得した」「安心した」という声はありませんでした。

岡山市が住民の不安払拭をしようとす

るなら、ボーリング数を増やしたり、トレンチ（溝）調査を行うべきでした。法的に問題ないからと、わずかな点だけの調査だけでは、余りにも冷たい対応です。

住民の不安解消にむけて、小さな単位での説明会や全戸訪問をしたいと答弁されましたが、市長が直接赴き、タウンミーティングを開き、問題の解決にむけて最善の方法を探るべきです。

今回の環境影響調査では、東山斎場再整備事業の基本計画で示された斎場施設を想定施設として予測をしていますが、想定施設で行うべきものでしょうか。塩化水素については、基準値を上回った箇所があり条件変更をしてのシミュレーション。「火葬炉排気筒の高さを検討することで環境基準等に適合すると予測される」としました。確定された施設での調査をする必要があるのではないのでしょうか。

安心・安全の太陽光パネルをめざし、適正な指導のルール化を

▼太陽光パネルによる被害

2015年8月に九州を横断した台風15号で、太陽光発電施設が強風にあおられて、大量のパネルが吹き飛ばされるなどの被害が相次ぎ、経済産業省が原因究明のために被害調査に乗り出しています。また、9月の鬼怒川洪水で、太陽光発電パネル設置のために民間業者が堤防を削ったことが、被害を拡大させた疑いも出ています。

原発事故後、国は太陽光の普及を図るために、事業者が義務付けていた規制の対象を500kW以上から2000kW以上に緩和を行い、2000kW未満は事業者任せになっています。小規模の開発現場には、事業者の名称や所在地が掲示をされていません。盛り土が崩れる、台風や水害でパネルが壊れる、雑草よけのシートで雨水が土に浸透せずにそのまま大量に流れてしまうなど、重大な災害が起きた時に誰が責任をとるのか。今の

●保育料の軽減を。政令市で一番高い！

岡山市の保育料は政令市のなかで保護者負担率が最も高いという指摘がありました。その上、昨年4月の子ども子育て新制度移行にともない、岡山市は年少扶養控除の「見なし適用」も廃止しました。国は激変緩和措置として、在園児については自治体による「見なし適用」を認めています。これにより岡山市では、18歳以下の子どもが3人いる家庭では、保育料が値上げされています。大森市長は、保育料のあり方について前向きに検討したいとの答弁でした。岡山県は第3子の保育料無料化のための補助を打ち出しています。岡山市は政令市ということで補助率が低いのですが、岡山市も来年度補正予算での軽減を検討中です。

●介護保険の大きな負担増。温かな施策を！

特養等に入所した場合、低所得層は食費や部屋代が軽減されています。この軽減は、所得で判断されていましたが、これまで収入に加えられていなかった遺族年金や障害年金もカウントされたり、夫婦で世帯分離をしても配偶者に住民税が課税されている場合は軽減されなくなりました。所得は少なくとも、金融資産が一定額以上ある人も対象外になりました。

その他、諸々の自己負担増で、11月議会では、実際に年額50万円、60万円の負担増になった方の例があげられていましたが、深刻な実態に背を向ける答弁でした。

温かな高齢者施策が必要です。

ゆるい規制では、誰に言えばいいのかすらわからない場合があります。

2015年9～10月にかけて行われた全国自治体調査（696自治体回答）によると、「現在ある再生可能エネルギー施設・設備に関するトラブル、苦情」について21%があると答え、その内容として、①景観、②雨水・土砂災害、③住民理解をあげています。トラブルの対象で多いのは域外資本のメガソーラーです。

全国の自治体では、周辺住民、景観や災害への配慮を重視し、実態把握と適正な指導をする動きが進みだしています。

▼愛知県新城市の場合

新城市は再生可能エネルギーを地域の資源としてとらえ、利活用にあたっては一定のルールが必要であると2012年に条例を制定しました。①メガソーラー級の施設を設置する時は、地域要望により説明会を開催。②50kW以上の太陽光発電施設を設置するときは環境保全協定を

締結。③1MW以上の太陽光発電施設を設置する時には、災害時の非常用電源に協力を依頼する。

事業者に対しては、市が関与する法的規制の状況を一括で提供をするという利便性を図って申請を促し、事業者の協力を得ているということです。

▼岡山市にも適正な指導のルールを

岡山市には住宅用も含めて、現在、約18,000の太陽光パネルが設置されていますが、どこにどのようなものが設置されているのかはわかりません（このうち、2014年度末において、岡山市が住宅用に補助金を交付した8,336件については把握）。岡山市は、大型の太陽光施設については研究との答弁ですが、私は新城市のように50kW以上についても把握をし、指導のルールが必要と考えます。

太陽光も含め再生可能エネルギーを推進する立場ですが、地域振興のための地域再生エネルギー政策という視点も含めて検討状況を注視していきます。

※「安民法制廃止・平和外交を求める」陳情が出されましたが、自民党・公明党・創政会の反対で不採択になりました。「TPP大筋合意撤回を求める」陳情も不採択。私は両方の陳情に賛成です。